

- 問1 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。
- 問2 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何と
いいますか。
- 問3 大和朝廷は、どのような人々が連合してつくった、強大な力をもつ国ですか。
- 問4 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問5 平安時代にえがかれた「大和絵」は、どのようなものを題材にしていますか。
- 問6 古墳の内部にある石室には、遺体と一緒にどのようなものが納められましたか。
- 問7 群馬県で発見された「岩宿遺跡」は、日本の歴史の区分において、何時代の遺跡ですか。
- 問8 古墳時代に大和朝廷の王であった「大王」は、のちにどのような立場の人にあたりますか。
- 問9 聖徳太子らが定めた冠位十二階は、それまでの家柄にとらわれず、どのようなことを基準にして役人を取り
立てるためのしくみですか。
- 問10 603年に定められた、家柄に関係なく、能力や功績のある人を役人にとりたてるための12段階の位のしくみ
を何といいますか。
- 問11 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかった、荷物につけられた「木の札」のことを何といいます
か。
- 問12 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何かですか。
- 問13 都の貴族から、地方の政治を任された地方の役人のことを何といいますか。
- 問14 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送ったことによって授けられたものは何かですか。
- 問15 平安時代を代表する随筆（ずいひつ）である「枕草子」を書いた人物はだれですか。
- 問16 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこ
ですか。
- 問17 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何かですか。
- 問18 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。
- 問19 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。
- 問20 縄文時代に作られた、土で作られた人形のことを何といいますか。
- 問21 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。
- 問22 天皇を助けて政治を行う役職のことで、推古天皇のときに聖徳太子が就いたものは何かですか。
- 問23 国風文化は、どのような人たちを中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化ですか。
- 問24 昔の税制度である「租」が、当時の国にとってどのような役割を果たしていたといえますか。

- 問1 11世紀前半に、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築いた人物は誰ですか。
- 問2 大和朝廷は、どのような人々が連合してつくった、強大な力をもつ国ですか。
- 問3 聖徳太子たちが、中国の進んだ文化や学問、政治のしくみを取り入れるために、小野妹子らを送った使節を何といいますか。
- 問4 日本に旧石器時代があったことを示すきっかけとなった、群馬県にある遺跡の名前は何かですか。
- 問5 縄のようなもようがあり、食べ物を煮たり、たくわえたりするために使われた、縄文時代の道具は何ですか。
- 問6 磨製石器が使われるようになったのは、日本の歴史のどの時代ですか。
- 問7 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問8 自分の土地や財産を守るために、集団で武装するようになった豪族や有力な農民などから始まった人々を何と呼びますか。
- 問9 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何といいますか。
- 問10 奈良時代の人々が、荷物などのメモ書きに紙ではなく「木」を使っていた主な理由は何だと考えられますか。
- 問11 平安時代に、貴族が住んだ大きなやしきの建築様式を何といいますか。
- 問12 邪馬台国の女王で、人々をひきつける不思議な力を持ち、中国の魏に使いを送って金印などを授けられたのはだれですか。
- 問13 昔の日本で、王や豪族などの有力者が、自分の大きな力や広いつながりをあらわすために作った、とても大きな墓のことを何といいますか。
- 問14 奈良時代に、聖武天皇が大切にしていた品物や、当時の貴重な宝物を守るために、東大寺の境内に建てられた特別な「倉」のことを何といいますか。
- 問15 中大兄皇子とともに蘇我氏をたおし、大化の改新を始めた人物はだれですか。
- 問16 十七条の憲法は、どのようなことを示すために定められたきまりですか。
- 問17 603年に定められた、家柄に関係なく、能力や功績のある人を役人にとりたてるための12段階の位のしくみを何といいますか。
- 問18 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問19 四角形と円形を組み合わせた形をした、古墳時代につくられたお墓を何といいますか。
- 問20 日本で最初の本格的な都である藤原京は、どこの国の都にならってつくられましたか。
- 問21 聖徳太子が「摂政」という役職に就いて、政治を助けた天皇は誰ですか。
- 問22 鑑真が命がけで日本に来た目的は、主に何をするためだったのでしょうか。

- 問1 古墳の中に、武器や祭りの道具などが一緒に納められたのはなぜだと考えられていますか。
- 問2 縄文時代の人々が、食べ終わった貝がらや動物の骨などを捨てた場所のことを何といいますか。
- 問3 遣唐使が唐（中国）へ送られた目的は何ですか。
- 問4 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問5 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問6 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。
- 問7 鑑真が日本で仏教を教えるために建てた、奈良にあるお寺の名前は何でしょう。
- 問8 794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都は何ですか。
- 問9 平安時代にえがかれた「大和絵」は、どのようなものを題材にしていますか。
- 問10 藤原道長とともに、11世紀前半に藤原氏の最も栄えた時代を築いた、道長の子は誰ですか。
- 問11 昔の大きな墓である「古墳」のまわりに立て並べられた、土で作られた人形や家の形をしたものを何といいますか。
- 問12 中大兄皇子らが天智の改新を始めたのは、どのような国づくりを目指すためですか。
- 問13 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問14 743年に、聖武天皇が仏教の力で国を守るためにつくることを命じた、大きな仏像は何ですか。
- 問15 8世紀の初めに、今の奈良県につくられた新しい都の名前は何ですか。
- 問16 大昔の日本で、天皇を中心とした国づくりを進めるために、中国の「唐」の制度をお手本にしてつくられた法律を何といいますか。
- 問17 古墳時代とは、どのような時代ですか。
- 問18 今から1万年以上前の、日本が大陸と陸続きだった時代を何といいますか。
- 問19 平清盛が武士として初めて就任した「太政大臣」とは、どのような役職ですか。
- 問20 武士たちが、力の強い者をかしらにしてつくった集団のことを何といいますか。
- 問21 縄文時代の人々が暮らしていた、地面をほって柱を立ててつくった住居を何といいますか。
- 問22 7世紀後半から8世紀初めにかけて、日本が「律令」という法律を整えた一番の目的は何ですか。
- 問23 1159年におこった平治の乱で平清盛を中心とする平氏が勝利したことにより、平氏はだれにかわって政治の実権をにぎるきっかけをつくりましたか。
- 問24 聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として中国に送ったのは、どのような目的のためですか。
- 問25 清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆（ずいひつ）は何ですか。
- 問26 鑑真が命がけで日本にきた目的は、主に何をするためだったのでしょうか。